

本を選ぶ

高校図書館版

NO.27 1999年(平成11年)5月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス
本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28-517 TEL=03-3235-6168

ぶつく・えんど

読書の時間

ここ数年、朝の斉読書というたぐいの学校をあげての読書運動がさかんのようになっている。時間を決めて、その間は生徒さんたちが自由に本を読む時間に充てている、という感じなのだろうか。公共図書館などが中心となって母と子の20分間読書運動というのがあったが、今も昔もかなり啓蒙的なものとして読書が扱われているようだ。

一定の時間内だけれどが斉に読書、という構図は、本来個人的な営みであるはずの読書というもの押しつけると危惧して、いささかの抵抗を禁じ得ない向きもあろうが、学校でのそれはそれで考えるべき発展的課題として、研究に取り組む必要はあると思われる。

幼児から成人間近にいたるまでの若い世代の読書については、それこそ数知れぬほどのご意見があるだろう。これもそのひとつ、九牛の一毛くらいのつもりでお読みいただきたい。

筆者が考える高校生の読書について学校でやっていただくことがのぞましいあり方というのは、以下の3点。ただし生徒はその時間に読まない。

その1. 読書の時間は10分単位でなく、週1時限きちんととる。

その2. 授業としてきちんと位置づける。

その3. 全教科の教師はもちろんのこと図書館の司書も本の専門家として参加する。必要なら学外から大学などの研究機関やその他から専門家を

講師に招くことも考える。講演会形式で全校一斉に体育館や講堂で、教職員も全員参加とする。

おわかりいただけると思うが、要するに半端ではなくきっちりやっていただきたいのだ。生徒の自主性をこわごわ尊重して、わずかなりとも活字に接してもらいたい、などという及び腰では、読書という難題には立ち向かえるものではない。

真っ向から読書を扱えばいい。そしてそのためには総力で、最高の布陣で当たるべきだ、そう申し上げたい。

生徒に読む時間を提供するのではなく、さまざまな角度や立場から、読書について授業する、そんな時間。いわばひたすら聞く読書、読書学入門である。生徒は読むことからではなく、一方的に聞かされる普通の授業から「読書」をする。中身はひたすら本とその周辺について。必ず典拠となる本を紹介し、その読み方をひとつ以上提示することが原則となる。リストは事前に配布され、後日それはまとめて冊子とする。

たとえば司書は、本はどんな風に作られてきたか、作られているのか、どうやって本は探し当てたらいいのか。理科の教師は、オーソドックスにいけば理科系の手軽に読める本をブックトークする、あるいは科学者の評伝などを紹介して科学史を浮かび上がらせる、印刷の原理はどうなっているか、などとテーマに困るほどあるに違いない。

これまで、わたしたちはあまりにも読書を面的にとらえすぎてきた。導入で体系的にやるべきことをちっともやらずに、若い人たちに読書を押しつけたがってきたきらいがある。

さあ、やっていただきたい、全校をあげて、魅力ある1時間を。(埜村太郎)

学校図書館を支えるのは 田舎の学校図書館奮戦記 その3

中村吾子

ふと気がつくと、司書になって10年目の春がやってきました。もうそんなになるのか、というのが正直な気持ちです。

大学の図書館学の講義で繰り返し言われたのは「ライブラリアンは、尊敬されるべき、専門的な職業である」ということでした。

学校図書館に配属された司書は、大抵一人で仕事をしていくこととなります。学校のなかに、図書館の「専門家」はたった一人なのです。例えば司書として仕事を始めたばかりの頃、分類で悩んだり、目録規則で悩んだりしましたが、学校の中でその悩みを解決することは、なかなかできません。結局は電話で他の学校の司書に聞くしかありません（分類については、いまだに七転八倒してしまうことがあります）。もちろん校務分掌のなかには図書館係があつて、図書主任がいて、あるいは選書委員会があつて複数の先生方が組織上は関わっていることになっています。でも、実際には図書館業務のほとんどは司書の仕事になります。図書館専任の職員として採用されている以上は当然のことと言えますが、息苦しさを感ずることもあります。

先生方に、図書館運営についてどんなふうに、どのくらい関わってもらえるか、関わってもらうか。係の先生方は、校内事情によっては1年ずつで交替してしまわれることもままあります。図書館の1年間の仕事の流れを見ていただいたな、と思うと他の分掌へと変わってしまわれるのです。良くも悪くも専任の職員がいるので、図書館のことは「司書にお任せ」になりやすいともいえます。でも、図書館のことを把握しているのが司書だけ、という状況になるのはとても危険だと感じています。

司書以外の人にもわかる図書館の仕事

「本についている数字は、その図書館独自のものだと思っていました」。この4月、新しく赴任されてきた図書主任の先生と会話をしている中で、

そう真顔で聞かれてはつとしました。生徒さん向けのオリエンテーションで、NDCの簡単な説明はしているものの、確かに司書以外の人には意味不明の数字の羅列に見えるんだろうな、と改めて気がつきました。何年か前に何かの会で、「図書館は、身内にしかわからない法則にあふれている」というような話を聞いた覚えがあります。その時には何となく聞き流してしまいましたが、これは実はとても大きな問題だと思うのです。分類の仕方、あるいは配架一つとっても、仕事をしている司書には一目瞭然でも、利用者にとってはどうなのでしょう。

前任の白馬高校では司書室に係の先生が常駐していませんでした。赴任したばかりのころ生徒さんのイタズラがすごくて、私の手に負えなくなって、半年ほど常駐していただいたのです。F先生は私の前任者の時からの係の先生で3年目になる方でした。図書館に常駐されたのはそれが初めてでした。しばらくしてから先生がしみじみとこう言われたのです。「図書館に常駐して、初めて図書館の仕事がわかった気がする」と。

一昨年、私は思いがけない病気になるって、なんと2か月も図書館から離れることを余儀なくされたのです。その日は本当に突然やってきて、係の先生に何かを説明をすとか、図書委員長に説明をすとか、そんな余裕すらありませんでした。一か月余りの入院。その後1か月ほどの自宅療養。夏休みが入るといふこともあり、代替の人は入りませんでした。

2か月後、図書館へ戻って愕然としました。全てがストップしていたのです。本の発注、受け入れ、新着雑誌の配架、etc。退院して十日ほどして、1学期の終業式の日には顔だけはだしてました。その時に留守を預かってくれていた委員長から、「吾子ちゃんがこれ以上これないなら、図書館しめるしかないって思ってた。雑誌なくなるし、本もだし。図書館荒れてくるし。出てきてくれて本当に良かった」と言われていたので覚悟はしていましたが、仕事に復帰してからの毎日は、

それこそ死に物狂いでした。ゼロになってしまった図書館のマナーの建直し。図書の発注、受け入れ。毎日の事務的な業務に追われ、広報活動などは後回し。結局、それは貸し出しの激減という結果を招いてしまいました。正直なところ、私には精一杯でした。司書に何かあったときの図書館スタッフの存在の必要。図書館が開店休業状態になることだけは、あってはならないのです。

私は司書の仕事が好き

「そのうち、本を見るのもイヤだ、と思うときがくるわよ」。そんな話をしてくれた先輩がいました。趣味＝楽しみだった本とのつきあいが仕事になるということは、苦しみも伴うことなんだ、ということなのだと思えます。実際、仕事としての本とのつきあいは、自分の好きな(＝得意な)分野の本ばかりを相手にしていただけるわけではありません。それまではあまり近づくこともなかった本棚とも仲良くしなければなりませんし、ことにレファレンスを受けるときなどは好き嫌いなど言っではいられません。私にとってそういった経験は、かえっていろいろな本との出会いという、新しい楽しみにつながりました。

仕事としてやっていく以上は、「十年一日」のような甘えは許されません。常に新しい情報と向き合うためには、自分の時間とお金を使うこともさげられませ。時には「首都圏なら、もっと…」とか、「どうしてここまでやらなくちゃならないんだろう」とほやくこともありましたが、趣味と実益をかねた書店巡り。本の情報を探っていく楽しさ。図書館や本に関わる人たちとの楽しい会話。大好きな本の情報を浴びるように得る毎日。やっぱりこんなに楽しくて嬉しいことはありません。

もうひとつの楽しみは、「人」との出会いです。

仕事として関わった図書館人や「本」にさまざまに関わる人たち。「好き」という気持ちだけで始まった、私と図書館との関わりが深まっていったのは、そうした方たちとの出会いがあったからだとも言えます。そしてなによりも個性豊かな利

用者との出会いは、常に新鮮で、驚きに満ち、そして緊張感をもたらしてくれます。

学校図書館には、同じ建物の中に何百人もの利用者候補が存在している、という図書館としてはちょっと独特な特徴があります。しかも、いつまでたっても同じ年代の生徒さんが相手です。私は軽井沢高校に赴任してこの4月で7年目になります。私自身はしっかりと年を取っていきますが、生徒さんたちは年々入れ替わり立ち替わりして、いつまでたっても思春期真っ只中の生徒たちなのです。

彼らの好みは年毎に変わり、また多様化しています。例えば軽井沢高校の英語科では、自由テーマでのリサーチ&レポートの授業が2・3年生になるとあります。そんな時生徒たちは、まず自分たちの興味関心の部分から取り組みます。だからこそ彼らが今何に興味を持ち、熱中しているのか。図書館は敏感に察知することを求められます。それが直接図書館の品揃えに関わってきます。何百人という利用者候補の一体どのくらいを図書館にひきつけられるかに直結していくのです。

この9年間、自分自身の力不足を嘆くことや人間関係の大波小波はありましたが、本を見るのがイヤになることも、図書館へ行くのがイヤになることもありませんでした。大好きなことを仕事にして、嬉しく楽しくしてこれたことは本当に幸せなことだと思います。

10年目に入って、司書の仕事は一生勉強の積み重ねなんだと強く思っています。首都圏にあっても、地方であってもその事自体には違いはないでしょうが、地方で司書をしていく、ということは都会にいることよりも、もうちょっとアンテナを高くすることが必要なのだと思います。

利用者との関わりや本を見る目を養うことなどの「図書館のプロ」としての仕事に加えて、学校全体に根ざした図書館を目指して校内のスタッフづくりに取り組むときだなぁと思いつつ1年ほどのお休みに入ることになりました。引継用のマニュアルづくりや係の先生との話を重ねていきながらダッシュで過ごす日々になりそうです。

(なかむら あこ：長野県軽井沢高校図書館)

第一回目の図書部会のために

スタッフマニュアルをつくらう(3)

木下 通子

新年度は準備することがとても多くて大変です。生徒に関することではオリエンテーションの準備などはしっかり準備していても、つい忘れてしまいがちなのが、図書部会対策。今回は図書部を1年間スムーズに回転させていくために、第一回の部会にどんな資料を揃えるかというテーマで、マニュアルを作ってみました。

1 図書部の構成

図書部を構成する人数は学校によって様々です。うちの学校には図書部担当の先生が5名います。実働部隊が何人かというのは別にしても、この先生方に図書館の運営方針を理解・承認していただき、仕事もある程度は分担していかねばならないので、第一回の図書部会で話し合うことはたくさんあります。

10年くらい前は部会が時間割の中に組み込まれていなかったもので、何かあったら先生方に声をかけて部会を開いてもらう形でした。が、選書など部会で定期的に行うことなどが滞ってしまうということで、時間割編成をするときに図書部会を時間割に組み入れてもらうことにしました。分掌の構成人数が少ないということで、時間割編成も無理なくやってもらえました。部会を時間割に組み入れてもらえるようになって、毎週部会が開けるようになり、先生方との関係も密になりました。

2 第一回 図書部会

新年度の図書部主任が、昨年度末の部会の時に決まっているので、第一回の部会の資料は、新主任と司書が春休みに相談して作っています。例年だいたい同じ内容を話し合っています。

①昨年度の分掌の総括の確認

年度末の職員会議で、図書部全体の総括、図書委員会指導の総括、図書館活動報告(数字的なまとめ)を出しているの、それをコピーする。新しく図書部担当になった先生もいるので、確認の

ため。

②資料収集方針・選定方法の確認

3年かけて部会で相談した収集方針・選定方法を1996年に文章化して、職員会議で承認されたので、それを提示して、内容を確認します。

「資料収集の留意点」として、(3)司書、図書部教師の個人的な関心や好みによって選択することはしない。(5)利用者の要求を反映させ、購入希望にできる限り応じられるよう努力する。という点を強調して説明し、「5 要求の尊重の部分」を読みあげます。

③役割分担

1 全員で行うしごとの確認

- ・選書
- ・生徒図書委員会指導
- ・蔵書点検、蔵書整理
- ・司書不在時の図書館開館(昼休みと放課後)

2 係分担の決定

- ・主任(1名)
- ・副主任(1名)
- ・図書係(4名) 教諭3名+司書
- ・視聴覚係(2名)
- ・生徒図書委員会指導チーフ(1名)

3 司書不在時の図書館開館当番の決定

曜日ごとに担当を決めている

4 部会議長と資料回覧の順番の決定

職員室の座席順

全員で行う仕事の中で、先生方が積極的にかかわっているのは、図書委員会指導と、司書不在時の図書館開館です。司書不在時の開館についても担当を決めないでできる方をお願いする形をとっていたのですが、どうしても同じ方に頼むことが多くなってしまい、特定の方に負担がかかるので、曜日で分担することにしています。頼む側としては、これもなかなか大変なのですが…。

選書は、『週刊新刊全点案内』(図書館流通センター発行)を回覧し、それぞれがチェックした

ものを司書がまとめて部会で承認という形をとっています。予算が少ない年などは、収集方針に則って、予約の本を優先して買っているため、部内選書を打ち切る場合もあります。

係分担については、図書主任は先生方が輪番制で担当し、年度末の図書部会の際に決めているのでここでは確認です。司書はどの仕事にもかかわらなくてはいけないので、主任・副主任や図書委員会指導チーフは、先生方をお願いすることにしています。司書が主任を兼ねてしまうとなんでも一人でやらなくてはいけなくなるような気がするので、今の形の方がいいなと思っています。

④生徒図書委員会細則の確認・役割分担

生徒の図書委員会にも、こういう活動をしているという細則があるので、先生方の間でも内容を確認します。図書委員会は、月に1回定例委員会を行う他に、広報係やイベント係など、四つの係に分かれて活動しているので、大人も係の担当を決めて生徒の相談に乗っています。図書委員会指導のチーフの先生は、図書委員会全体の運営を指導する他に、役員の子の指導もしています。定例委員会を開く前に役員会を開き、定例委員会で話し合う内容を事前に相談したり、企画の原案を練ったり、仕事量も多く、なかなか大変です。

⑤年間予定行事・図書部方針について

図書館の年間行事予定を昨年度の例にそって確認していきます。読書月間などは生徒図書委員が中心になって動く行事ですが、教科の担当者や分掌のメンバーで書店に行って現物購入をするなども行っているため、そのおおまかな日程を決めてしまいます。

年度末に分掌の総括を出しているのにあわせて、年度始めには、図書部の活動方針を出しているため、最初の部会では昨年の方針を参考の形で提示して、次回の部会で今年度の方針を話し合う資料とします。方針は毎年ほとんど同じなのですが、図書係、視聴覚係、図書委員会指導係それぞれが今年度の活動目標を明確にするために、毎年

準備

- いつ だれと
春休み中に主任と
- 資料をつくる
 - ・前年度の部活動報告（主任）
 - ・図書委員会指導係の前年度総括（図書委員会指導係）
 - ・図書館活動報告（数字的なもの）（司書）
 - ・資料選定方法（3年前に作ったものをコピーする）
 - ・資料収集方針（3年前に作ったものをコピーする）
 - ・前年度の図書部の方針（コピー）
 - ・年間行事予定（ほぼ毎年同じ）（コピー）

話し合い、職員会議に提出しています。

⑥図書館オリエンテーションについて

生徒のオリエンテーションと、新転任職員のアオリエンテーションの日程を確認します。

第一回の部会は準備出勤の日に、1時間の時間がとられているのですが、これだけ話し合うと時間がいっぱいになってしまいます。最後に司書から、新一年生の利用者カードのクラス分けと、二、三年生のデータをパソコンで修正するお手伝いをお願いして、第一回の部会は終わりになります。

3 図書部会との関わり

先生方はいろいろな仕事を抱えているので、分掌で活躍していただくのはあまり期待できないのですが、図書委員会の活動を相談したり、管理職に予算の交渉をするときにいっしょに行ってもらったりはしています。蔵書整理などの作業は、ほとんど期待できません。それでも、部会の中でできるだけ細かく図書館の状況をお話するようにしているので、何かあった時に助けてもらうことができます。

学校図書館法の改正にともなって、司書教諭が発令されるようになると、図書部のあり方も変わってくるのかもしれませんが、それまでに司書の図書館活動をサポートしてくれる分掌としての図書部のあり方を検討しておく必要があると思っています。

（きのした みちこ：埼玉県岩槻商業高校図書館）

★資料

資料収集方針

埼玉県立岩槻商業高校図書館

1 本校図書館の奉仕対象および奉仕活動の基本的な目的
本校図書館は、本校の生徒ならびに教職員に対し、「よむ喜び」「知る自由」「学ぶ権利」を保障するため、また教職員の教育活動を保障し、教育の展開に寄与するために、資料を収集し提供する。具体的には、本校の教育方針および努力目標に則り、以下の資料を収集し、提供する。

- (1) 生徒、教職員の興味・関心に応える資料
- (2) 授業、学校行事など、学習活動に必要な資料
- (3) 人権教育、平和教育のための資料
- (4) 生徒の人間形成に必要な資料
- (5) 進路を考えるための資料
- (6) 本校で作成された資料
- (7) 郷土資料
- (8) 図書館運営上必要な資料

2 収集する資料

本校図書館における資料とは、図書・新聞・雑誌・CD-ROMを指す。

その他の資料については、必要に応じ、図書部会で収集を検討する。

3 資料収集にあたっての留意点

資料の選択、及び収集を行う際には、『図書館の自由に関する宣言』（1979年改訂 日本図書館協会）に基づき、以下の点に留意する。

- (1) 多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
- (2) 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれたり、個人・組織団体からの圧力や干渉に左右されることなく、図書部の責任において収集する自由を守る。
- (3) 司書、図書部教師の個人的な関心や好みによって選択することはしない。
- (4) 寄贈図書の受け入れについても同様に行う。

また、予算を有効に使い、図書館を活性化し、利用者の要求に応じた資料の収集ができるよう、以下の点に留意する。

- (5) 利用者の要求を反映させ、購入希望にできる限り応じられるよう努力する。
- (6) 蔵書の形式的なバランスにとらわれることなく、必要度・要求度の高いものから収集する。
- (7) 需要の多い分野については、種類の増加、複本の購入に努める。

(8) 利用目的の多様さを考慮し、幅広い収集に努める。

(9) できるだけ新しい情報に基づく資料の収集を行う。

(10) 教師用・研究室用図書として、長期別置される性格の図書は、図書館用資料費に含まないものとする。

4 収集、選択の組織と決定にあたる責任の所在

資料の実際の選択は、司書を中心に、原則として週に一回開かれる図書部会で決定し、図書部が責任を負う。

5 要求の尊重

利用者から購入を希望された資料は、できる限り提供するように努力する。

その際、図書館は希望を出した利用者のプライバシーを厳守する。

収集方針を越えていると思われる資料を要求された場合は、公共図書館を始めとする他館から借用して提供することもできる。

本校生徒および教職員は、本校蔵書に対し要望や批判を出すことができる。

示された意見は、収集方針に基づき、図書部で検討し回答する。

6 蔵書の更新・除籍について

本校図書館の資料は利用されることに意義がある。常に時代や文化の変化に対処できる新鮮な書架であるために、次のような原則で除籍および廃棄を行う。

(1) 利用頻度の落ちた図書、新たな資料によって代替できる資料、古くなった資料価値の乏しい資料は、随時書庫に移す。

(2) 資料全体をみきわめ、将来の利用を予測して不利用な資料は除籍する。

(3) よく利用される図書が、破損・紛失などのため利用に供せなくなった場合は、同一資料の買い替えを行う。

(4) 雑誌、新聞の廃棄については別に定める。

7 収集方針の改定

収集方針は必要に応じて改定することができる。新たな収集方針は、司書の原案に基づき図書部会で検討・作成され、職員会議の了承を得て改定される。

1996年3月 作成

調べて学ぶ 世界のすがた

[全5巻] B5判 各48頁 揃本体16,000円

世界の国々と
人々を知り、
課題を学ぶ

1. 平和と人権
2. 経済と貿易
3. 民族・国家・社会
4. 人々のくらしと地球環境
5. 人々のくらしと文化

調べて学ぶ 日本のしくみ

[全5巻] B5判 各48頁 揃本体16,000円

豊富な資料と
写真で学ぶ
現代日本の社会

1. 政治と世界のつながり
2. 経済とくらし
3. 地方自治と安全・運輸
4. 教育と福祉・人権
5. 環境と公害

大日本図書 〒104-0061 東京都中央区銀座1-9-10
☎03(3561)8679 FAX03(3561)3065

調べて学ぶ、日本の民俗文化遺産

イラストで見る人の旅 物の旅 心の旅

人と物の旅百科

[編著] 岩井宏實

[イラストレーション] 中林啓治

[全5巻]

- 第1巻 ^{ごりやく} 御利益をねがって…寺社詣で
第2巻 川と海を渡って…船による交通
第3巻 山・里を越えて…技術を伝えた職人たち
第4巻 新天地を求めて…商人と移民
第5巻 交通の歴史・索引

揃本体15,000円 ※セット販売のみ
■小学校高学年・中学・高校向 NDC380(民俗)

河出書房新社 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-32-2
TEL03-3404-1201

ブラックホールは 宇宙を滅ぼすか？

知りたかった天文・宇宙101の疑問

M・メルトン著 中村浩美訳 ブラックホールに吸い込まれたものはどこへ行くのかなど、天文・宇宙に関する101の疑問に、長年天文学教育に携わってきた著者が簡潔に回答。 A 5変形判/定価：本体1400円＋税

ガードナーの おもしろ科学実験

M・ガードナー著 秋山仁監訳 真の科学教育のためには不思議な実験をさせることが重要である。数理科学啓蒙の第一人者がそんなニーズに合う100例のスーパー実験を紹介。 A 5変形判/定価：本体1400円＋税

東海大学出版会

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4 ☎03(5478)0891

全ての人に、生きる力を与えたい!



生きる力を求めて

～中村久子の生涯～

幼い頃、両手両足を失った。
障害者としての苦悩と絶望を、誇りを持ち生きる力へと力強く変えていった72年の生涯。セミドキュメンタリーで綴るライブラリー必携の作品です。

カラービデオ50分
好評発売中!

価格 **4,800円**
〈税/送料別〉

お問い合わせは
フリーダイヤル ☎0120-714-550

中村久子ビデオ事務局 (株式会社バードランド内)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-46-16 小野木ビル1F

●ホームページ <http://www.nakamura-hisako.co.jp>

平凡社 1999

図書目録

新しい総合目録をお届けします。

ホームページ

<http://www.heibonsha.co.jp/>

●お問い合わせは

(株)平凡社 営業部

TEL03(5721)1234・FAX03(5721)1239

合同出版 東京都千代田区神田神保町1-52(税込)
TEL03-3294-3506 FAX03-3294-3509

宮田秀明の (宮田秀明 撰南大学教授)
ダイオキシンの問題
ダイオキシン問題研究の第一人者が書いた大好評のQ&A入門テキスト。これでわかったと大好評。定価1260円

よくわかる 環境ホルモンの話
環境ホルモンの生体毒性を最先端のデータで解明した好評大好評4刷。北條祥子(尚絅女学院短大教授)定価1260円

よくわかる ダイオキシンの汚染
内外のオリジナルデータを基に毒性論、削減対策を提言する。大好評18刷。宮田秀明(撰南大学教授)定価1470円

はてなぜ **クイズ水とみどり** 佐伯平二
はどうして **クイズ水とみどり** 佐伯平二
はてなぜ **クイズ水とみどり** 佐伯平二
はどうして **クイズ水とみどり** 佐伯平二

●定価各1260円

●本勝美(監修) 山本耕平(著) ●定価各1260円

げんだいミステリーワールド 全15巻

揃定価：揃本体54,000円(税別)

- ・くらしっくミステリーワールド 全15巻
揃定価：揃本体57,000円(税別)
- ・ポピュラーミステリーワールド 全15巻
揃定価：揃本体54,000円(税別)
- ・もだんミステリーワールド 全15巻
揃定価：揃本体54,000円(税別)

A5変判・平均256頁
中島河太郎・監修

大活字本
シリーズ

ポピュラー時代小説 全15巻

揃定価：揃本体54,000円(税別)

- ・くらしっく時代小説 全15巻
揃定価：揃本体54,000円(税別)

尾崎秀樹・監修

リブリオ出版 〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-11
TEL.03-3943-8885 FAX.03-3943-3540

図説大百科世界の地理《全24巻》

田辺 裕＝監修 A4変型判 各148頁 本体各7600円
既刊18冊好評発売中 ④⑧⑬⑯5月刊 ⑬⑮⑳24月刊

世界地理大百科事典《全6巻》

■田辺 裕＝総監修 B5判 本体28500円■
既刊2冊 ②アフリカ、③南北アメリカ／好評発売中

ヴァイキングの世界

図説世界文化地理大百科(16回配本) 本体28000円

1999年一春
朝倉書店 総合図書目録
■CD-ROM版図書目録(ハイブリッド版)も有、ご請求下さい。

朝倉書店 東京都新宿区新小川町6-29
〒162-8707 ☎03-3260-7631

限りなく広がる知識の世界 辞典550点突破!

邪馬台国を知る事典
武光 誠・山岸良二編 本体3200円

数のつく日本語辞典
森 睦彦著 本体2400円

標語スローガンの事典
祖田浩一編 本体2400円

難読・異読地名辞典
楠原佑介編 本体5700円

状況分類別敬語用法辞典
奥山益朗編 本体2400円

東京堂出版 東京都千代田区神田錦町3-7
〒101-0054 ☎03(3233)3741

日英仏独の国際共同出版!!

タイタニックの最後の晚餐
豪華航路のディナーとレシピ

リック・アーチボルトほか著／梶浦さとり訳
B5変型・上製カバー・144頁・オールカラー
定価：本体2800円+税

海に浮かぶ宮殿と謳われた伝説的客船タイタニックで供された、贅を尽くした最高の食事。一等から三等まで、オリジナル・メニューをもとに再現された幻のレシピが明かされる。タイタニックの「食」の魅力を、多数の貴重な図版とともに封じ込めた究極の一冊。

国書刊行会
〒174-0056 東京都板橋区志村2-10-5
TEL. 03-5970-7421 FAX. 03-5970-7427

思春期の性といのち

four seasons of teen-ager II
産婦人科医の出会った子どもたち



上田 基 (産婦人科医)

新しい生命が誕生する瞬間は、何ものにも代えがたい。幸せな妊娠・出産・育児をしてほしい。産婦人科医が「十代の性」の現実と、生命の輝きをえがく。保護者、教師必読の一冊。

四六判・美装カバー／168頁／1600円

ミネルヴァ書房 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL075-581-0296 ※価格税別

数の悪魔

算数・数学が楽しくなる12夜



エンツェンスベルガー ベルナー絵 丘沢静也訳 数学なんてこわくない! 悪魔が案内するはてしなく不思議な数の世界の魅力。10歳からみんなが楽しめる、オールカラーの愉快的入門書。2982円(税込)

晶文社 東京都千代田区外神田2-1-12
電話03(3255)4501

